



# 凡事徹底

当たり前のことを当たり前に

蕨市立第二中学校  
学校だより  
令和7年度  
第8号(12月号)



## 「挨拶」の素晴らしさ

今学期の開始時は猛暑が続く毎日で、早く涼しくならないかと秋の訪れを待ちわびていた日々でしたが、早いもので、2学期もあとひと月を残すばかりとなりました。肌で感じる風も一段と冷たさを増し、冬の訪れを肌で感じる今日この頃ですが、本校の生徒たちは、この長い2学期を本当にたくましく、そして豊かに過ごしてくれました。8月末の始業式から始まった2学期は、蕨二祭、体育祭、そして学年ごとの学習や行事など、様々な取組が目白押しでした。生徒一人一人が目標に向かって努力し、時には仲間とぶつかり合いながらも、最後には互いに思いやりの心を持って協力し合う姿に、何度も感動させられました。一生懸命な姿は素晴らしい、頑張ることは素敵なこと、生徒たちは身をもって実感していたのではないかと思います。良い思い出ばかりでなく、悔しい思いをした人もいると思いますが、一つ一つの経験が、生徒の大きな成長につながっています。きっとこれから未来を生き抜くための貴重な財産となっていることでしょう。いつも一生懸命な、何事にも全力で取り組む二中生に感謝したいと思います。

さて、私が特にこの2学期を通して強く感じたのは、生徒たちの「挨拶」の素晴らしさです。朝の登校時、授業の始まりと終わり、そしてそれ違う廊下で交わされる「おはようございます」「こんにちは」といった元気な声は、学校という空間を明るく、活気に満ちた場所にしてくれます。

初任者指導で本校に来ていたいている菅原先

校長 椿 智絵

生から先日、「二中生はよく挨拶をしてくれる」とおっしゃっていました。特に良いところとして、しっかりと目を見て挨拶をするところをあげていただきました。「おはようございます。」「こんにちは。」という短い一言ですが、目を合わせることでより一層気持ちが伝わるのではないかと思いました。

「挨拶」という言葉は、もともと「お互いに心を開いて、相手の心に近づく」という意味が込められているそうです。まさに、挨拶は人と人との心の距離を縮める「魔法の言葉」です。元気な挨拶は、相手の気分を一瞬で幸せにし、自分自身も清々しい気持ちにさせてくれます。これまで何度も紹介をしていますが、第二中学校では校訓「凡事徹底」を具現化するために、二中 Basic の中に「自分から挨拶」を示しています。生徒たちが自ら挨拶の価値やその気持ちよさを実感し、実践してくれていることを大変心強く感じています。これもひとえに、ご家庭での温かい声かけや、毎日の登校見守りをしてくださっている地域の皆様のご支援があつてのことと、深く感謝申し上げます。

2学期も残すところあとわずかとなりました。冬休みという特別な長期休暇を前に、生徒たちには、一年間お世話になった方々への感謝の気持ちを込めて、丁寧に挨拶をしてほしいと願っています。日頃の「おはようございます」「こんにちは」に加え「今年もありがとうございました」「来年もよろしくお願ひします」といった年末ならではの挨拶も、ぜひ実践してほしいと思います。

### 卓球台を寄贈していただきました

蕨ロータリークラブ様より、市内の中学校に卓球台を寄贈いただきました。  
体育の授業や部活動等において、大切に誓わせていただきたいと思います。  
寄贈いただきありがとうございました。



### 《学校教育目標》

自ら学び、深く考える生徒 (知)  
心豊かで、思いやりのある生徒 (徳)  
たくましく、健やかな生徒 (体)

### 蕨市立第二中学校

電話 : 048-443-2670 FAX : 048-443-2671  
URL : <http://www.warabi.ne.jp/~warabi-2/>  
e-mail : warabi-2@warabi.ne.jp